



らぶく  
**La・Book**

9月号

No.87

**安曇野市図書館**

**図書袋運動展開中！！**

安曇野市図書館では、今年度「図書袋運動」を展開しています。学校の蓋付き図書袋が長野県発祥ということで、そのルーツを辿ろうと始まった企画です。

この4月から6月まで、子ども時代の図書袋使用についてのアンケートを実施したところ、204人の方から回答をいただきました。ご協力に感謝いたします。このアンケート結果については、図書館フェスタイベントの一環で、8月25日（日）から「図書袋の歴史」と題して中央図書館に展示しておりますので是非ご覧ください。

また、10月26日（土）から始まる秋の読書週間では、図書袋を使用している利用者の方の協力により撮影させていただいた図書袋の写真展を市内各図書館にて行います。

本を大切にす文化が息づいてきた長野県。ぜひ皆様、お気に入りの図書袋を持って図書館においていただき、本との出会いを楽しんでください。お待ちしております。



**三郷図書館**

**奮闘!?調べもの日記(レファレンス)**

**加助神社の例祭について**

加助神社（貞享義民社）は、1686年に貞享騒動と呼ばれる農民一揆を主導した多田加助が磔<sup>はりつけ</sup>に処され、その際松本城をにらみつけたことで松本城が傾いたと言われたことや、その後<sup>た</sup>に祟りが相次いだと思われたことから、50年後の1736年に加助の自宅跡の隣に造られました。

現在、春の例祭が4月21・22日に、秋の例祭は11月21・22日に行われています。今年の春の宵祭りでは、「三郷義民太鼓」と「おしゅんの語り」の奉納が行われました。昭和8年頃の例祭では、「美幸会一座」が浪曲の小屋掛けをして芝居を、昭和9年以降は熊野神社のお祭りでの船の飾り物を使った大飾りが、そして戦後になると昭和30年頃までは素人演芸などが行われていたようです。

古い歴史を持つ神社です、足を運んでみてはいかがでしょうか。



<関係資料>

『季刊 三郷文化 19号 貞享義民 300年記念特集号』 三郷村教育委員会  
『三郷の社寺』 三郷村誌編纂委員会

**私と図書館**

温かな図書館  
30代後半 主婦

先日、明科図書館を訪れた際、利用者にも「明科にもやっと自動貸出し機がついたんだね」と声をかけられ、「そうですね。でも、安曇野市の合併当時、明科にだけ自動貸出し機が設置されていたんですよ」と職員の方が答えている場面<sup>に</sup>に居合わせました。

私が、穂高から明科に嫁いだのも合併直後で、このやり取りを聞いてその当時は思い出しました。

確かに明科には自動貸出し機がありました。館内はゆったりと広く明るくて、寛いで本を読む子、さらには、円形の中庭で走り回り遊ぶ子もいました。

それまで私にとって図書館といえば、穂高会館の中の穂高町図書館でした。低い天井、狭い本棚が立ち並び、狭くて、暗くて、おまけに冬は恐ろしく寒いという印象でしたから、明科はなんて先進的なんだと驚かされました。

穂高図書館も「みらい」に中央図書館として移転し、明るく温かく生まれ変わって今年で十周年だそうです。これからも図書館が、温かい憩いの場として多くの人を迎えてくれることを願います。



